



Banco MUFG Brasil S.A.

Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

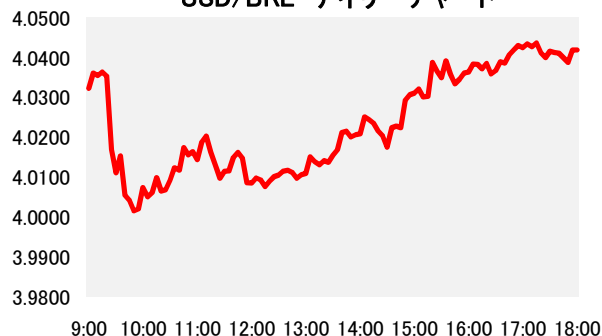
			10月18日	10月21日	10月22日	10月23日	10月24日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	4.1130	4.1290	4.0840	4.0360	4.0420	+0.0060
	BRL/JPY	Spot	26.350	26.300	26.58	26.93	26.87	-0.06
	EUR/USD	Spot	1.1170	1.1150	1.1126	1.1130	1.1107	-0.0023
	USD/JPY	Spot	108.43	108.61	108.48	108.68	108.59	-0.09
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	4.492	4.493	4.528	4.520	4.488	-0.032
	Future	1Year(p.a.)	4.421	4.417	4.466	4.479	4.448	-0.032
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.620	2.600	2.598	2.587	2.596	+0.009
	USD	1Year(p.a.)	2.512	2.470	2.447	2.423	2.457	+0.033
株式	Bovespa指数		104,728.90	106,022.30	107,381.10	107,543.60	106,986.10	-557.50
CDS	CDS Brazil 5y		129.88	129.11	127.19	125.20	123.07	-2.13
商品	CRB指数		175.753	174.736	175.506	177.296	177.710	+0.41

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

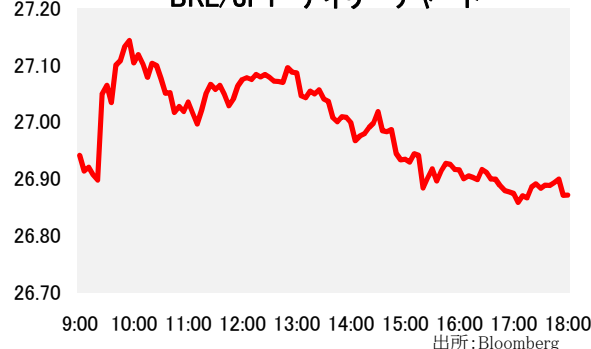
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV消費者信頼感	--	89.40	89.70
経常収支	-\$400m	-\$3487m	-\$4274m
海外直接投資	\$4200m	\$6306m	\$9470m
耐久財受注(前月比)	-0.70%	-1.10%	0.30%
新規失業保険申請件数	215k	212k	218k
失業保険継続受給者数	1678k	1682k	1683k
マーケット米国製造業PMI	51	52	51
新築住宅販売件数	702k	701k	706k

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

(特になし)

4. トピックス

- 本日のレアルは小幅に反落。レアルは4.0270で寄り付いた後、欧州中央銀行(ECB)が緩和的な姿勢を維持したことなどをサポート材料に日中高値4.0010まで上昇した。しかしECB理事会後の記者会見においてドラギ総裁がユーロ圏経済について暗い論調になったことや、ジョンソン英首相の総選挙実施を提案したことでブレグジットを巡る不透明感が再び強まったことを背景にリスクオフムードが再燃し、レアルは反落。日中安値4.0450まで下落し、結局4.0420でクローズした。
- この日のECB理事会を以てドラギ総裁は8年の任期を終えた。会合後の記者会見では、成長の勢い鈍化が賃金上昇のインフレ転化を遅らせていると指摘したほか、見通しへのリスクを下方方向に変更、更にドイツは恐らくリセッションに陥っているなどと欧州経済について暗い論調で語ったうえで、極めて緩和的な金融政策姿勢が長期に亘って必要だと声明した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。